

含鉄資材 ハイタフ特号 荒起し前 80～120 kg/10a 施用

施用効果

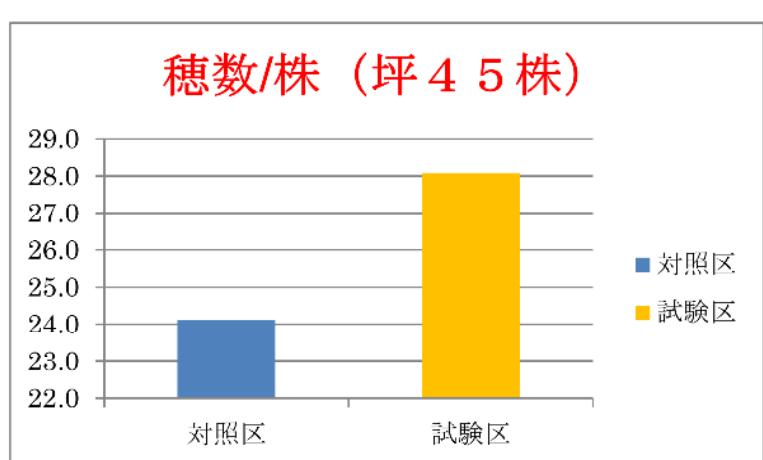
H27年 石川県(コシヒカリ) (ガスわき多発田)

肥料は、基肥一発 10aあたり 窒素 5.8 kg、リン酸 3.5 kg、カリ 2.9 kg

生育期 根張りの違い(6/30 出穂-35)



収穫期 有効穗数の違い



対照区はガス害により、根の生育が悪い
(硫化水素ガスで、どぶ臭い)

含鉄資材施用で、根が守られ健全に生育し
有効穗数が確保された

収穫前(8/30 出穂+25) 圃場写真



対照区

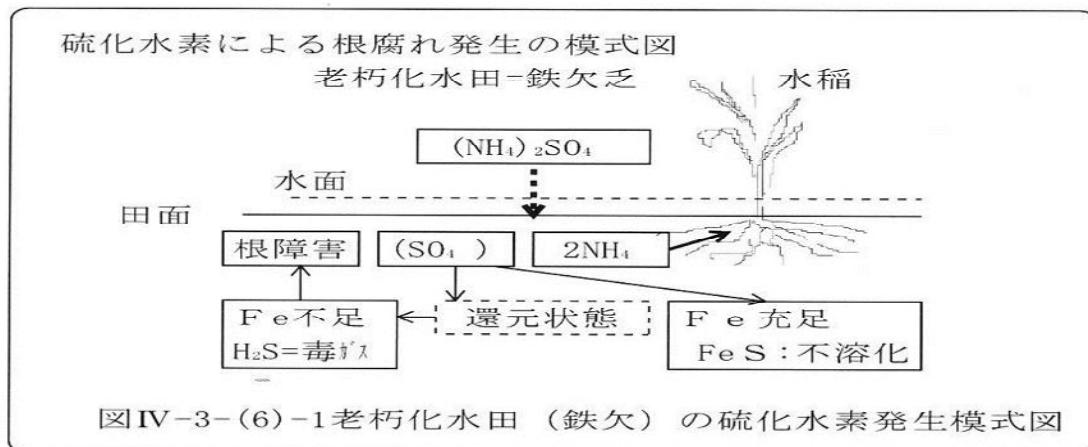


試験区

・鉄、ケイ酸、苦土などの施用効果により有効穗数が増え、充実した草勢となった。

ハイタフ特号についての詳しい事は、下記特約店へお聞き下さい。

鉄分欠乏水田と、鉄分充足水田硫化水素ガス発生との関係

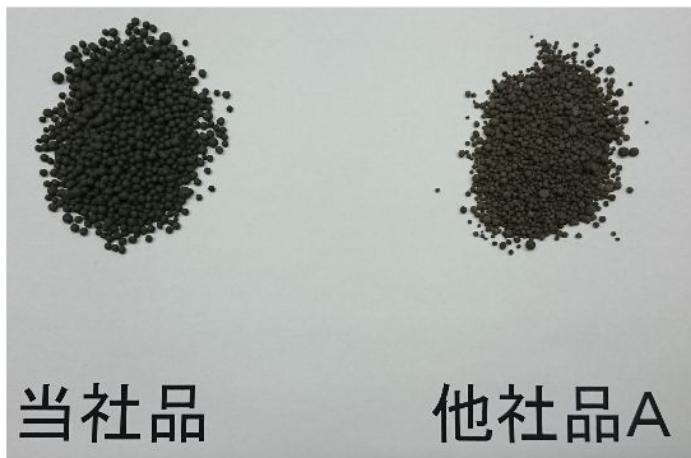


土壤中に鉄分が少ないと硫化水素ガス害で、根がやられ生育が悪くなり、収量品質が低下します。
対策として、散布後土壤水分で崩壊する含鉄資材を、作土に鋤き込む事が理想とされます。

水中での崩壊の違い

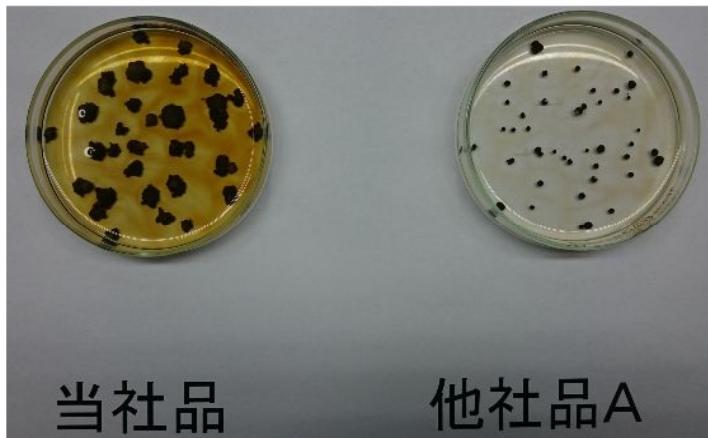
比較試験開始直後

製品外観



溶けるから効きます

15分後（当社品はかなり崩壊している）



3分後



5分後



10分後

